

中央発條株式会社

証券コード：5992

CHUHATSU
CHUO SPRING CO.,LTD.



第100期 報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

CONNECT WITH THE NEXT.

「その技術で次なるステージへ」



技術と情熱が創り出す価値ある商品を未来へ世界へ

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第100期報告書をお届けするにあたり謹んでごあいさつ申し上げます。

Q1

業績を含めた2022年度の振り返りをお願いします。

主要なお客様の生産台数は前年とほぼ同レベルとなり、売上高が前期に比べ増収となりましたが、この増収のほぼ全てが、鋼材・資材・物流費等の高騰に対するお客様への売価反映と為替変動の影響によるものであり、実質的な売上高は前年とほぼ同水準となりました。

実質的な売上が伸びない一方で、鋼材・資材・物流費および動力光熱費に関して第2四半期から急激なインフレが進み、その結果、年間のインフレ幅は77億円にのぼり、大幅なコスト増となりました。お客様への売価反映と全員参加の全費目に対する合理化改善により懸命な挽回努力を行いましたが、商慣行上翌期への時期ずれ反映対象も存在し、コスト上昇影響を相殺するには至らず、営業利益は前期に比べ減益となりました。合理化改善としては原価改善活動を推進する一方、2023年度の主要なお客様の増産計画にスムーズに追従するための製造設備に対する事前メンテナンス費用の投入、また事業構造改革により収益改善効果の出してきた北米事業改善をさらに加速させる先行投資など将来の収益基盤強化のための「意志ある」コスト投入も併せて実施しており、収益減少の一要因となりました。「意志ある」コスト投入は、次年度以降の増産および製品の高付加価値化に対する収益確保力の強化に寄与いたします。

経常利益は前期に比べドルに対するインドネシア・ルピア安の影響が前年の影響幅を上回り、減益となりました。

Q2

2023年度の見通し、また中長期的な目線での見通しを教えてください。

主要なお客様の自動車生産台数は未だ不透明な部分はあ

るものの、2022年度に比べ増加すると予想しております。特に、設備投資は拡販および高性能・高機能製品対応投資を2022年度比で約2倍の過去最高額を実施する予定であり、将来に向けた生産能力増強のマイルストーンとなる年度とする計画を立てております。

収益面では、インフレ圧力の鎮静化は期待されるものの、鋼材・資材・物流費および動力光熱費等の価格高止まりや不安定な為替レート動向によるコスト上昇圧力は依然強いと想定いたします。そのような状況のなか、生産台数の増加に確実に追従することに加え、更なるあらゆる費目に対する合理化改善施策を徹底することにより、コスト上昇圧力を凌駕し、2023年4月26日公表通りの増収、営業利益増益計画を実現するべく対応いたします。

一方、経常利益につきましては、想定為替レートが2022年度末より円高方向に振れる前提にたち、2022年度実現した円安による営業外増益効果が消滅することから、減益予想としております。

当社を取り巻く様々な環境の変化の中、従来の製品・原価構造では収益確保の確実性が不透明となり、新たな価値を生み出す事業構造への変革のため、2023年5月31日に中長期経営計画を開示いたしました。

クリエイティブカンパニーとして「商品力の強化」「事業の選択と集中」「画期的な原価低減」を中心に、取り組んでまいります。

Q3

株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

2023年5月31日に既にご案内の通り、2023年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況を確認し、2023年4月に施行された株式会社東京証券取引所（以

下、東証)の改正制度も踏まえた結果、この度スタンダード市場を選択申請することを決議いたしました。

新市場区分にてプライム市場に上場後、自動車用ばね部品メーカーとして本業の強化による株価の引き上げ並びに流通株式の増加により、流通株式時価総額を100億円以上に維持することを目標に取り組んでまいりましたが、足元の当社を取り巻く環境は半導体不足や鋼材・資材・動力光熱費のインフレ等により不透明・不確実な経営環境が継続し、2022年度は期初公表計画に比べ減益となり、2022年事業年度の末日以前3か月間の日々の最終価格の平均株価は当社の目標価格には到達せず、2023年3月31日時点の流通株式時価総額はプライム市場の上場維持基準に適合しない結果となりました。

加えて2023年4月に施行された東証の改正制度では、2025年度中にプライム上場維持基準をクリアできない場合は、上場維持基準を満たせないリスクがあることを考慮すると、スタンダード市場を選択し、株主の皆様が不安を持つことなく安心して当社株式を保有・売買できる環境を確保することが重要と考えました。その上で持続的成長と中長期的な企業価値向上に全力で取り組み、中長期ビジョンを安定的に達成できる経営基盤を構築してまいります。

今年度当社は75周年を迎えますが、これまで築いてきた、常に一步先を見据えた将来の変化に柔軟かつ迅速に対応できる取組みを今後も果敢且つ確実に実行してまいります。今後とも信頼され続ける『100年企業』を目指し、『社会』と『人』に優しい継続的に企業価値を高め続けられる会社作りに邁進してまいります。

当社はこれからもモノづくりを通して社会に貢献するとともに、すべてのステークホルダーから愛される会社づくりに取り組んでまいりますので、今後とも皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。



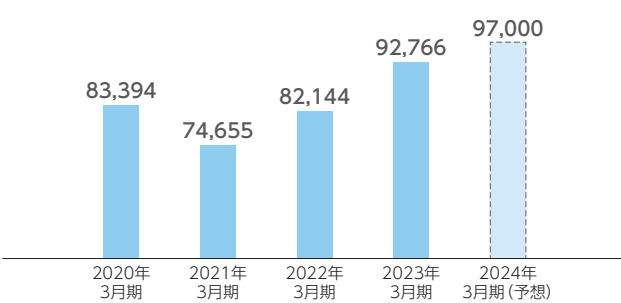
代表取締役社長 小出 健太

決算概要・連結業績ハイライト

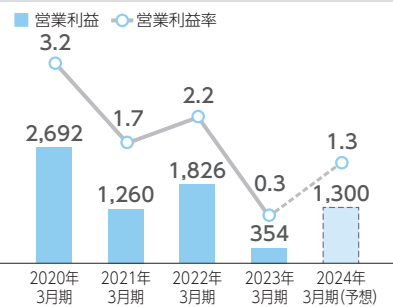
連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	2023年3月期	2022年3月期
売上高	92,766	82,144
営業利益	354	1,826
経常利益	1,572	3,434
税金等調整前当期純利益	1,451	3,410
親会社株主に帰属する当期純利益	481	1,801

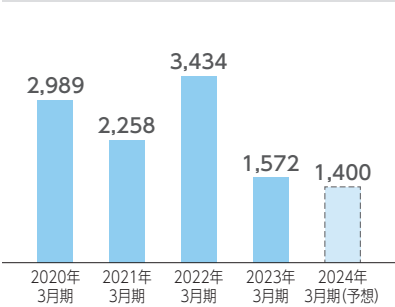
売上高 (単位:百万円)



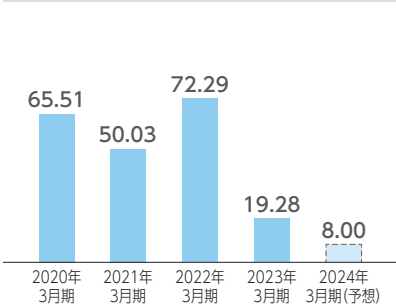
営業利益 (単位:百万円) / 営業利益率 (単位:%)



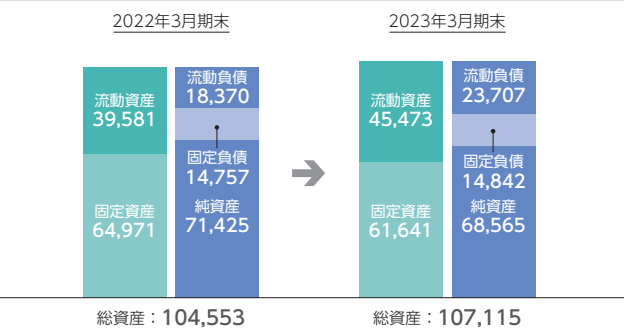
経常利益 (単位:百万円)



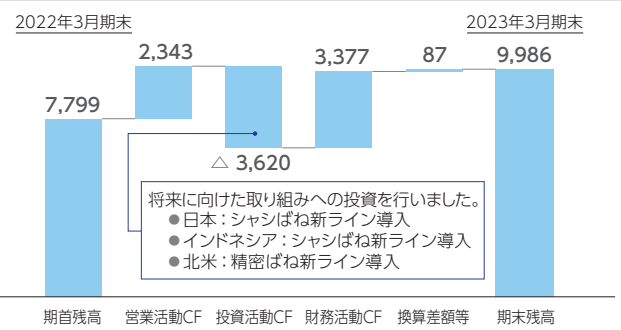
1株当たり当期純利益 (単位:円)



連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)



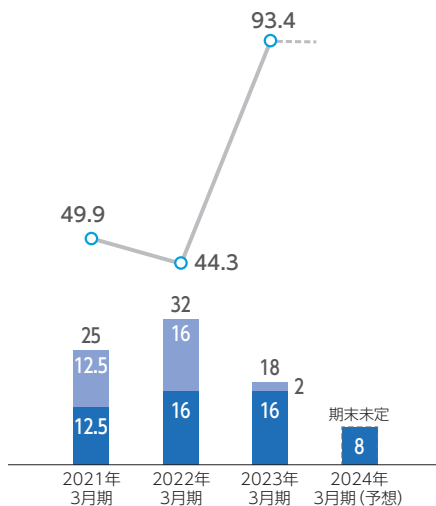
(注1) 2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(注2) 換算為替レート 2023年3月期: 133円 / US\$ / 2024年3月期(予想): 120円 / US\$

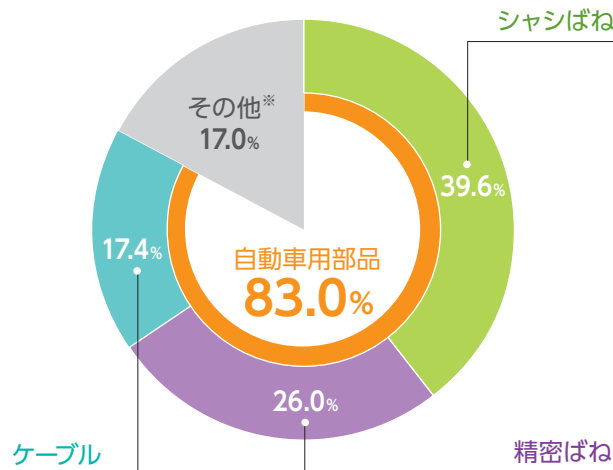
(注3) 経常利益・1株当たり当期純利益につきましては、想定為替レートが当年度末より若干円高方向に振れる前提にたち、当年度実現した大幅な円安による営業外増益効果が消滅することから減益予想としております。

1株当たり配当金 (単位:円)

■ 中間期 ■ 期末 ○ 配当性向 (%)

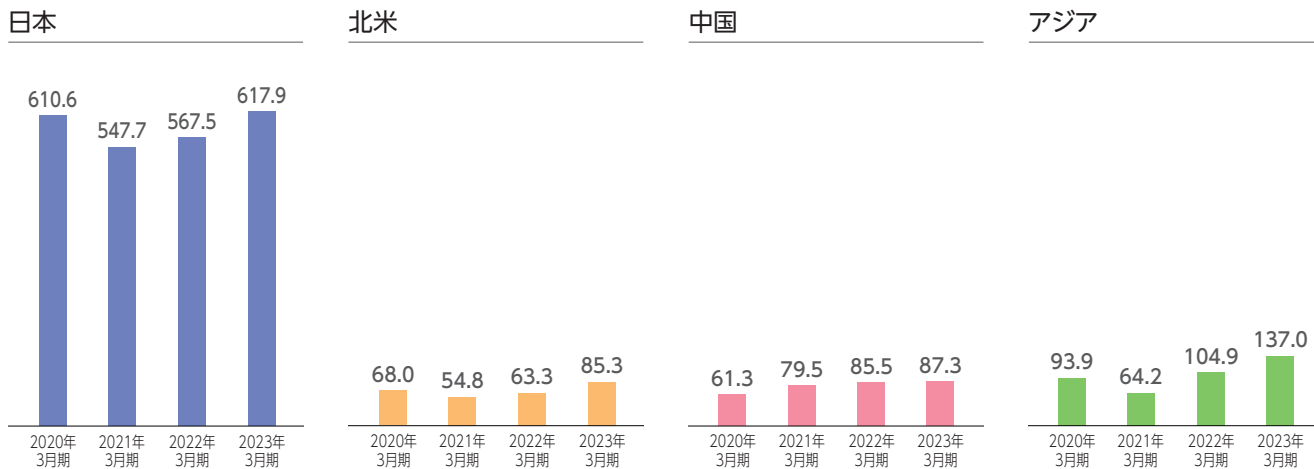


製品別売上構成



※その他には自動車用品・建築用部品他を含んでおります。

地域別セグメント売上高 (単位:億円)



TOPICS

● 当社の製品がトヨタ自動車発売の新型「プリウス」に採用



写真提供:トヨタ自動車株式会社様

1月10日に発売されたトヨタ自動車株式会社の新型「プリウス」に当社のシャシばね製品、精密ばね製品、ケーブル製品が採用されました。

フラッグシップカーと呼び声高いプリウスに、引き続き当社の製品が採用されたことで、売上高1,000億円達成に向け着実に歩みを進めております。

当社は今後も創る技術を社会に活かし、ばねの力で安全と快適な暮らしを支えてまいります。

TOPICS

● 当社の製品がLEXUS「RZ」に採用

3月30日にLEXUSから発売されたバッテリーEV専用モデルとなる新型「RZ」に当社のシャシばね製品、精密ばね製品が採用されました。

当社のシャシばねが新型「RZ」の操縦安定性と乗り心地の両立に貢献しております。

当社は、今後もBEV・FCEV対応製品のラインナップを拡充し、競争力強化を図ってまいります。



写真提供:トヨタ自動車株式会社様

TOPICS

● 小型車市場でのシェア拡大



写真提供:ダイハツ工業株式会社様

当社のシャシばね製品が、ダイハツ工業株式会社のDNGAプラットフォームの全車種に採用され、シェア拡大をしております。

シャシばね材料のグローバル地域における最廉価調達でコスト競争力を高めるとともに、軽量・高強度設計を実現してきたことで、原価および品質商品力の両立を実現し、今回の採用に繋がりました。

ダイハツ工業株式会社以外のカーメーカーの小型車にも採用されており、今後は更なる原価低減や品質向上に努め、売上拡大と収益向上を着実に進めてまいります。

TOPICS

● 陸上部 — MGC参加権獲得 —

当社陸上部員の吉岡が、大阪マラソンで2時間07分28秒の好成績を収め、MGC（マラソングランドチャンピオンシップ）への参加権を獲得いたしました。

MGCとは、日本陸連が主催するオリンピックマラソン日本代表選考レースを指し、対象の大会で定められた順位・基準タイムをクリアした選手が参加権を獲得。上位2名がパリオリンピック代表に内定します。当社から吉岡・橋本（新加入）の2名が出場します。

今年度は新たに4名が加入しました。来年のニューイヤー駅伝出場を目指し、チーム一丸となって練習に取り組んでまいります。



▲ 大阪マラソンの様子 (吉岡選手)

会社概要

設立	1948年12月25日
資本金	108億3,720万円
従業員数	連結：4,405名 単独：1,505名
製品区分	自動車用部品 (シャシばね、精密ばね、ケーブル)、 その他 (自動車用品・建築用部品他)
本社所在地	〒458-8505 名古屋市長区鳴海町字上汐田68番地 電話 (052) 623-1111 (総合案内)
主要な事業所	本社工場 (名古屋市長区) 碧南工場 (愛知県碧南市) 三好工場 (愛知県みよし市) 藤岡工場 (愛知県豊田市) 技術センター (愛知県みよし市) 東日本営業所 (栃木県塩谷郡高根沢町) 西日本営業所 (大阪府吹田市)

役員 (2023年6月15日現在)

※取締役社長	小出 健太
※取締役執行役員	米倉 浩司
取締役執行役員	矢澤 文希
●取締役	安田 加奈
●取締役	山本 光子
常勤監査役	間瀬 実
◆監査役	山本 秀樹
◆監査役	中村 元志
◆監査役	清水 淳也
執行役員	鈴木 聡
執行役員	宮原 浩一
執行役員	市野 晃稔
執行役員	渡辺 圭
執行役員	宮田 征典
執行役員	北浦 啓一
(注) ※ 代表取締役 ● 社外取締役 ◆ 社外監査役	

関係会社

国内 10社	愛知県	中発運輸株式会社 株式会社東郷ケーブル 株式会社セプラス 中発精工株式会社 中発販売株式会社 株式会社リーレックス
	岐阜県	株式会社岐阜中発
	静岡県	株式会社エフ.イー.シーチェーン
	長崎県	株式会社長崎中発
	青森県	中発テクノ株式会社

海外 10社	米国	CHUHATSU NORTH AMERICA, INC.
	台湾	中發工業股份有限公司
	タイ	CHUHATSU (THAILAND) CO., LTD.
	インドネシア	PT. CHUHATSU INDONESIA
	中国	天津中発華冠機械有限公司 天津中星汽車零部件有限公司 天津隆星彈簧有限公司 昆山中発六和機械有限公司 昆山中和彈簧有限公司 孝感中発六和汽車零部件有限公司

事業内容

当社グループは、次の製品の設計開発、製造および販売を主な事業としております。

シャシばね

足回りに使用されるばね



スタビライザ



コイルばね

コントロールケーブル

レバー操作を遠隔伝達させる役割



パワースライドドアケーブル

精密ばね

座席のリクライニング用ばねや電装部品保持用ばね等、幅広く採用されている



渦巻ばね



EV/PHEV
バッテリーモジュール
締結部品

その他

住宅用部品、鉄道部品なども手掛けている



キャブレックス



レールクリップ

2023年6月15日(木)開催の当社第100回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されました。

報告事項

1. 第100期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第100期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

決議事項

第1号議案 取締役5名選任の件

本件は、原案どおり取締役として小出健太、米倉浩司、矢澤文希、安田加奈および山本光子の5氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、安田加奈および山本光子の両氏は社外取締役であります。

第2号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案どおり監査役として清水淳也氏が選任され、就任いたしました。

なお、清水淳也氏は社外監査役であります。

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案どおり補欠監査役として稲垣昭弘氏が選任されました。

新社外監査役ご紹介



当社は6月15日付で新社外監査役として、清水社外監査役を迎えました。
トヨタ自動車株式会社の管理職として培われた専門知識を活かし、今後当社の経営全般に対し客観的・専門的な視点から監査いただけるものと期待しております。

新社外監査役 **清水 淳也氏**

略歴

1998年4月 トヨタ自動車株式会社 入社
2008年1月 トヨタサウスアフリカモータース 出向
2011年1月 トヨタ自動車株式会社 生産管理部 生産調査室
2018年1月 同社 調達企画部 ものづくり改革室 室長
2022年7月 同社 PJT推進・ボデー部品調達部 部長 現在に至る

株主総会資料の電子提供制度と当社の対応について

会社法改正により、株主総会参考資料は（以下、「招集ご通知」と記載）の電子提供制度が開始されます。書面でご送付していた「招集ご通知」は、原則WEBでのご提供となります。

当社の対応について

第101回以降の招集ご通知は、一部を除き、書面交付請求をされた株主様に限り、書面でお送りする予定です。
第101回以降も継続して全ての内容を書面でお受け取り希望される場合、“書面交付請求”が必要となります。

株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル **0120-696-505**

（受付時間：土・日祝日を除く平日9:00～17:00）

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告 ※決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）にて開示しております。
株主名簿管理人（連絡先）	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
単元株式数	100株
証券コード	5992
上場取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所

ホームページのご案内

当社に関するより詳細な情報については、当社ホームページをご覧ください。企業活動や製品に関する情報など、幅広く情報を提供しております。またIR情報ページには、業績ハイライトやこれまでの決算短信を、CSR情報ページには環境への取り組みなども掲載しております。

<https://www.chkk.co.jp/>



▲ トップページ



▲ IR情報ページ



▲ CSR情報ページ